



北大阪商工会議所 青年部
会長 川北 修義

亀岡副会頭と川北会長との 対談

枚方市駅前大収穫祭・ 枚方オクトーバーフェストが もたらすもの



北大阪商工会議所
副会頭 亀岡 育男

平成28年6月28日(火曜日) 17:00～

場所 北大阪商工会議所 経済クラブ

1. はじめに

司会：本日はお忙しい中、貴重なお時間を頂戴し有難うございます。

司会を務めさせていただきます青年部広報委員会委員長西澤です。

青翔9月号では、北大阪商工会議所及び青年部が9月に取り組む枚方市駅前大収穫祭と、その中核事業である枚方オクトーバーフェストについて、誘致・実現に尽力されておられます北大阪商工会議所の亀岡育男副会頭様と川北修義青年部会長にお話しいただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

亀岡副会頭：よろしく願いいたします。

川北青年部会長：よろしく願いいたします。

司会：本年、9月に枚方市駅前で大収穫祭が開催され、その中核事業として枚方オクトーバーフェストが開催されます。全国各地で開催されているオクトーバーフェストを枚方市に誘致した動機や経緯についてお聞かせください。

川北青年部会長：私は、昨年の8月頃に平成28年度の青年部会長にとのお話をいただきました。その頃から、平成28年度の青年部をどうやって盛り上げようかと考えまして、亀岡副会頭にご相談しておりました。

青年部では、平成27年度の外村会長が、研修などの自己研鑽の機会を数多く取り入れられ、組織固めをしていただきましたので、これを受け、次年度は外部に向けた事業を多く取り入れようと考えました。

しかし、数年前まで開催しておりました「ええやんか祭り」も今ではなくなり、ジュニエコ以外に対外的に大きな事業がございませんでしたので、青年部として外にできる事業が他にないものかと模索しておりました。そのような中で、亀岡副会頭が事業として関与しておられる「オクトーバーフェスト」のコンテンツを地域活性に活かせるのではないかと考えたのが、そもそものきっかけです。

亀岡副会頭：私は4年ほど前から北大阪商工会議所の中で青年部担当の副会頭をしております。

これまでに青年部の皆様と関わっているのは、青年部はとてつもないエネルギーを秘めているということです。北大阪商工会議所の青年部は260名以上の会員を擁しています。これは全国の青年部の中でも指折りの人数です。

この大きなエネルギーを、北大阪商工会議所のため、枚方・寝屋川・交野の三市のために発揮してほしいというおもいがありました。そのような気持ちで青年部の皆様と接している中で、川北会

長から平成28年度の会長に就任するとの挨拶を受けまして、外向きに発信するような事業を積極的に取り組んでいきたいと強く望んでおられることがわかりました。

また、これまでの青年部との交流の中で、川北会長から3年前に委員長として臨んだ「ええやんか祭り」が中止になった無念を聞いておりました。

そこで、私どもが事業として関わっている「オクトーバーフェスト」のコンテンツを地域活性化に活かしてはどうかという話になりました。

※青年部の会員は7月15日時点で271名。

川北青年部会長：「ええやんか祭り」が中止になった件は、関わる者すべてが残念に思っておりました。

そうした経験がある中、平成28年度に青年部会長をさせていただくことになり、「オクトーバーフェスト」を活用できないか考え始めました。それが、オクトーバーフェストを枚方市に誘致した動機や経緯といえます。

また、私自身が「オクトーバーフェスト」のファンでありまして、天王寺で開催されるたびに、ここ数年間は寄せていただいております。

2. オクトーバーフェストのコンテンツについて

司会：オクトーバーフェストは数年前から日本各地で開催されており、現在では高い認知度を誇っております。そうしたオクトーバーフェストを枚方市に誘致することはこういった意義があるのでしょうか。

亀岡副会頭：まず、日本でのオクトーバーフェストは、期間中600万人以上を集めるミュンヘンのオクトーバーフェストのようなことをしようと、1990年の大阪花博の際に企画したのが端緒でして、そこから横浜の赤レンガ倉庫や東京の日比谷公園で開催されたのが好評で、今では全国各地で開催されています。

そうしたコンテンツを枚方市に持ってきて、枚方独自のモデルとして地域活性化に役立てようと考えたのが、今回の試みです。

今回枚方市で開催するオクトーバーフェストは、他のものとは違ったものです。他の地域で開催されるオクトーバーフェストは、プロによる商行為ですが、枚方市のものは、枚方市と北大阪商工会議所、北大阪商工会議所青年部が主催で行う地域活性化事業です。より社会性・公共性を持った事業です。

出店者も、広報も、事前準備も、あくまでも商工会議所が主体となって地元企業の協力を得て行うのです。ここが他のところのオクトーバーフェストと全く異なります。

全国に先駆けた地域活性化事業のモデルとして枚方市駅前大収穫祭とその中核事業の枚方オクトーバーフェストを行います。

川北青年部会長：亀岡副会頭が伝えられましたように、枚方市駅前大収穫祭は、既存のオクトーバーフェストのコンテンツを利用して、地域に密着して活動する多様な主体(事業者、団体、行政等)を巻き込んで、新たな地域活性化事業モデルをつくらうとするものです。

各種団体が運営委員会に参加して、枚方市駅前大収穫祭の実施に向けて動いています。

社会性・公共性を持った事業として、地方自治体や各種団体様などとうまく連携を取り、また、商工会議所及び青年部の内部でも連携を取ることが重要と考えております。



その各種団体が連携を取りつつ、それぞれ自立性を持って、枚方市駅前に賑わいをつくる、そういった気持ちで進めていくことが大事だと考えています。

亀岡副会頭：川北会長は、地元自治体や地元企業と連携して賑わいをつくる地域活性化事業モデルをつくらうとしています。

枚方市駅前大収穫祭が成功すれば、成功事例として新たな事業モデルが育ちます。そうすると全国が枚方市に注目して、視察に来たり、川北会長が全国に説明に行ったりすることになります。

つまり、今回枚方市でやろうとしていることは、まさに地域活性化プロジェクトなのです。



5月、天王寺で開催された「オオサカオクトーバーフェスト2016」の様子

3. 商工会議所と青年部の融合

司会：亀岡副会頭からは青年部に対する期待を強く感じるころではございますが、商工会議所本会と青年部の融合に関して、お二方のご意見をお聞かせください。

亀岡副会頭：私は、商工会議所で青年部の担当になって以来、月に1回青年部の皆さんと議論をして、前向きでアクティブな活動をしてもらっているというおもしろいがありましたし、非常にバイタリティがあって、青年部ってすごいなと感じていました。

今、枚方市駅の再開発に関して、地方自治体や各種団体関係者皆様が意見をお持ちになり、真剣に議論し、枚方市駅が非常に注目を浴びています。

そうした中で、枚方市駅前に賑わいづくりをすることは商工会議所の役割であり、青年部の皆さんの役割だと思っています。

平成26年度の木崎青年部会長の時代に活性化委員会をつくって、商工会議所職員と青年部の間で、組織内の相互理解の試みを始めました。

平成27年度の外村青年部会長の時代に、各々のおもいをぶつけ合い、組織内の相互理解が進みました。会議所のあり方や今後の方針などあらゆる点で意見交換をしました。これは現在も続けています。

そして、平成28年度の川北青年部会長の時代に、まちに飛び出そうと、協力して外に向けての事業をすることになりました。それが枚方市駅前大収穫祭であり、枚方オクトーバーフェストなのです。

川北会長には「まちへ飛び出そう。」という熱いおもしろいがあって、せっかく飛び出すのであれば、社会性の高い大仕掛けなものをやろうよという話をしていて、それで、今回オクトーバーフェストを誘致して枚方市駅前大収穫祭をやろうという話になったのです。

私は、青年部が商工会議所の成長エンジンであると確信しています。そのため、商工会議所と青年部の融合に関しては、とても重要と考えていて、今後協力できることがあれば、強く推し進めていきたいと思っています。

川北青年部会長：有難うございます。

亀岡副会頭からの期待を強く感じております。

本会では、ビジネスマッチング事業や部会活動などがあり、会員サービスや支援事業も数多く用意されています。しかし、青年部メンバーは意外とわかっていないところがありますので、できるだけたくさんの方にわかってもらえるよう、組織活性化プロジェクトや例会の際の告知などを通じて広めていきたいと考えております。

私は、本年度のスローガンを「繋がる」ことをひとつのテーマに、『人を繋ぎ、地域を繋ぎ、未来を繋ぐ「魅力あるまちへ」』と掲げました。

枚方市駅前大収穫祭も、本会と青年部の融合を図るうえでの一つの事業です。できるだけ皆様に参加していただいて、繋がりを持っていただければと思っております。



「枚方市駅前大収穫祭」に向けて会議を重ねる

4. 北大阪地域のために

司会：本年、枚方市で枚方市駅前大収穫祭を開催するにあたり、商工会議所の在り方のようなものを考える機会になりました。

商工会議所の在り方論のようなものがあれば、お聞かせ願えればと思います。

亀岡副会頭：基本的に、商工会議所っていうのは、まちのため、まちの商工業者のためにあるんですよね。そこを忘れてはならないと思います。

商工業者はまちに飛び出して、まちをよくしないといけません。活動を通じてまちをよくしていく意義があります。

商工会議所といえば、例えば、100円商店街、まちバル、まちゼミ、そういうことをやっていこうというムード作りが必要になります。

会議所にふさわしい事業を発信することで、まちに対するエネルギーを発揮できます。現に、枚方市駅前大収穫祭のスキームに、行政や地元の企業様が参加してくださいます。これは、青年部がやろうとしている社会性の実現、理念が合っているんだと思います。

枚方市駅前のまちづくりプランを考えるうえでも、もっともっとまちが活気づいていないといけ

ません。まちを活気づけるのは会議所だという気概が必要です。

そのための手段としての枚方市駅前大収穫祭と考えることもできます。

川北青年部会長：枚方市を発展させるためには、もっと賑わいをつくらないといけません。枚方市駅を単なる通勤の駅ではなく、滞在していただける時間を長くとれる駅にしないといけません。

そのためには、枚方市の知名度を上げるとともに、まちの魅力をもっとアピールする必要があります。枚方市駅前大収穫祭、枚方オクトーバーフェストはまさにその起爆剤になりうると考えております。

私も、亀岡副会頭とおもいは同じなのですが、商工会議所は、まちの賑わいをつくる担い手です。私たちの愛する北大阪地域の発展のため、商工会議所が引っ張っていくんだという気概で、今回の枚方市駅前大収穫祭に臨みます。

亀岡副会頭：あとは自立性が大事ですね。

大きい話になるのですが、日本は、高度経済成長の中で役所から予算をもらって事業をするという時代が長くありました。しかし、90年代から不景気の時代がはじまり、行政にも予算がなくなってきました。時代が変わってきました。そうすると、「予算をとらなあかんねん。」といっている物理的に難しくなっています。

そこで、これからは自立型を模索する必要があります。私たちの先輩方は、戦後間もないころには国の援助なんて見込めませんでした。でも日本は成長しました。みんな自立心を持って頑張ってきたのです。私たちにはその力があるはずですよ。

今は明らかに行政に頼っているだけの時代ではなくなってきています。それをわかっておく必要があります。

行政と協働することにより、自分のポジショニングを理解し、自分たちの力で賑わいをもたらすんだという気概が必要になってくるのです。

技術開発をしない企業がすたれるのと、まちづ

くり・まちおこしは同じです。頑張っていれば、5年、10年経つと差が出てきます。

そう考えて、何事にも取り組んでいくべきだと私は考えています。

川北青年部会長：そうですね。今回の枚方市駅前大収穫祭は、周辺の商工業者も合わせて賑わいができればと思っております。

各事業者、各種団体が自立性を持って取り組んでいただければと思っております。

商工会議所でもバル事業をされます。他には、ひら婚も開催されますし、京阪ホールディングス株式会社様は駅から岡東町公園までの導線に店を出されます。

京阪ホールディングス株式会社様が駅前を盛り上げてくださいます。川原町商店街もいろいろ考えておられるようです。

オクトーバーフェストは21時までですが、21時以降も地域のお店に行くとか、枚方市駅前が賑わいを見せてくれると思っております。

枚方市もこの主旨を理解し積極的に協力をいただいております。まさに「産・官・地域」が機能的に連携しています。

そもそも自立性がないとこの事業は成り立たちませんので、私も、自立性は大事だと思っております。

亀岡副会頭：広報も大事ですよ。

川北青年部会長：広報に関しては、京阪電車の車内吊り広告などで告知をしていただけますし、枚方市も広報を全面的にしてくださる予定です。

他には、新聞、テレビ、インターネットなどの各種媒体で、みんなが協力して広報を進めて参る予定です。

5. さいごに

司会：さいごに、枚方市駅前大収穫祭の中核事業、枚方オクトーバーフェストがいかに楽しいかについて、お聞かせください。

亀岡副会頭：オクトーバーフェストは、老若男女みなさんに楽しんでいただけるお祭りです。わかりやすく言うと昔ながらの盆踊りのドイツ版のようなイメージです。

とにかく一度、足を運んでください。

川北青年部会長：老若男女問わないというところが特徴ですね。

また、オクトーバーフェストは、祭りに参加した方が歌や踊りの雰囲気知らない人と友達になったり、楽しんだりすることができる祭りです。日本人の日常生活ではあまりないことかもしれませんが、そういったものが生まれる空間です。

先ほどから何度も言っておりますが、私の今年度のテーマは、「繋ぐ」です。この企画が寝屋川市や交野市でも活用できれば最高です。

オクトーバーフェストに参加して、北大阪全体を繋げたいと思います。商工会議所本会と青年部だけでなく、商工会議所と枚方市、各種団体、各種企業、そこに集う方々すべてを繋ぎたいですね。

色々なものが繋がる枚方市駅前大収穫祭ですので、楽しんでご参加ください。

皆さま、一緒に踊って、プローストしましょう。

亀岡副会頭：私も、たくさん知り合いを連れて行って、一緒に踊りたいと思います。

司会：本日は有難うございました。

亀岡副会頭：有難うございました。

川北青年部会長：有難うございました。

是非とも、枚方市駅前大収穫祭を成功させたいと思います。



北大阪商工会議所青年部



会員募集

若き起業家集団
Young Entrepreneurs Group

同じ地域の経営者として、いろいろな
考え方や個性を持った仲間達に
出会えれば・・・
きっとあなたの会社の経営にも活かせる
ことが見つかるはず！

2016年度スローガン

人を繋ぎ、地域を繋ぎ、
未来を繋ぐ「魅力あるまちへ」

〒573-8585 枚方市大垣内町2-12-27
TEL 072-843-5163 FAX 072-841-0173
北大阪商工会議所青年部事務局
<http://www.kitaosaka-cci.go.jp/yeg/>



平成28年度会長・川北修義



年に一度の総会



月に一度の例会



音楽サークル「KA-NA-DEI」